

「維新」の英訳

大津 隆文

いささか旧聞になるが「日本維新の会」の英訳が話題になったことがあった。当初は Japan Restoration Party と称していたが、Restoration は復古主義のイメージがありふさわしくないとの指摘を受け、Japan Innovation Party に替えたという。たしかに辞書を見ると restoration は英国のピューリタン革命やフランス大革命の後の王政復古、あえていえば反革命を指す言葉のようだ。

日本人にとって維新といえば明治維新になるが、その英訳が通常 the Meiji Restoration となっている根拠を探ってみた。「明治維新」の包含する事象には二つの側面があり、一つは倒幕の旗印になった王政復古、もう一つは政治や社会の大変革（維新）である。英訳では前者を重視したようだ。しかし実体は「御一新」で廃藩置県、文明開化、富国強兵など革命にふさわしい変革だ。維新革命、the Meiji Revolution と呼ぶべきとの有力な意見もある。

「維新」を辞書で見ると、「すべてが改まって新しくなること、とくに政治や社会の革新」とある。「革命」と何が違うのか。なぜ倒幕から新政府発足への動きを、革命ではなく維新と呼んだのか。元来革命とは国を治める王朝が天命により変わることを指す。徳川氏は征夷大將軍で究極の統治権は天皇にあった。倒幕によってその所在が変わった訳ではないと解されたのだ。事実の一つでも捉え方で表現が異なるのが面白い。

明治維新の大変革中の大変革が廃藩置県である。従来の封建的な世の中を大きく変える契機になった。封建とは直轄領以外の土地を諸大名に領有・統治させる制度であり、公地公民のように全国を直轄領とする郡県制と対比される。封建制の下では交通は制限されて地域的な閉鎖性が高く、身分制、世襲制で社会の閉塞感が高い。これが廃藩置県で打破され社会改革、文明開化が一気に全国に広がった。諸大名が既得権をよく放棄したものと感心する。

今日本は世界の中で地盤沈下中だ。改革は進まず「茹でガエル」状態が続き、政治は指導力に欠け国民の信頼は低下している。既得権を一掃した明治維新が眩しく見える。